

<問題 - - (2): 道路>

1. 平面線形の設計にあたって留意しなければならない事項のうち、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
 - a. 長い直線はできるだけさける
 - b. 連続した円曲線相互の曲線半径の比を適切なものとする
 - c. 緩和曲線は、前後の円曲線の半径とバランスしたものとする
 - d. 同方向に屈曲する曲線の間には短い直線を入れる

2. 普通道路と小型道路で基準値が同じものを a~d のなかから選びなさい。
 - a. 建築限界
 - b. 車線の幅員
 - c. 縦断勾配
 - d. 制動停止視距

3. 交差点設計において設計車両と通行方法の組み合わせを決定する際に配慮しなければならない事項のうち、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
 - a. 道路や交通の性格
 - b. 地域特性
 - c. 地形特性
 - d. 沿道状況

4. 歩者共存道路において自動車の速度を抑制するための構造（デバイス）のうち、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
 - a. ハンプ
 - b. ポケットパーク
 - c. シケイン
 - d. ポラード

5. 地域高規格道路に対する記述のうち、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 路線全体として概ね 60 km/h 以上確保する
 - b. 車線数は 4 以上とする
 - c. 原則として平面交差交通がないよう処置する
 - d. 路線全体として所要のサービス速度を確保することができる場合、現道を活用することも可能
6. 軟弱地盤対策工として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. パーチカルド レーン工法
 - b. 盛土荷重載荷工法
 - c. サンドコンパクションパイル工法
 - d. ノンステージング工法
7. 道路の空間機能の説明として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 収容機能
 - b. 滞留機能
 - c. 市街地形成機能
 - d. 環境空間形成機能
8. 交通調査の用語の定義として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 物資流動調査とは、物流施設、物資の流動量ならびに貨物自動車の動きを「物の動き」に着目して実態を把握する調査
 - b. OD 調査とは、歩行者交通の実態を把握するものであり、一般に OD 表としてまとめる
 - c. パーソントリップ調査とは、「人の動き」に関して、目的・利用交通手段等の属性を把握する調査
 - d. 断面交通量調査とは、現況道路の断面交通量を調査し、道路の利用実態を把握する調査

9. 道路の横断面構成に関する記述のうち、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 停車帯は、沿道利用のための停車スペースとしてのものである
 - b. 副道は、沿道施設利用等のための停車スペースを考慮して幅員を決定する
 - c. 植樹帯は、道路景観形成等に必要な空間であり、交通機能には直接的に関与しない
 - d. 路肩は、交通機能のみに限らず多用な機能に応じて幅員を決定する必要がある
10. 環境施設帯に含まれる道路の部分として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 植樹帯
 - b. 路肩
 - c. 歩道
 - d. 中央帯
11. 道路の情報化技術に関連しないものを a~d のなかから選びなさい。
- a. A H S
 - b. I T S
 - c. E T C
 - d. P P P
12. 自動車から排出される有害ガスの中で浮遊粒子状物質の表現として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. S P M
 - b. H₂O
 - c. S O x
 - d. C O
13. 道路の区分（種、級）の決定に関係のないものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 道路の種類
 - b. 道路の存する地域の地形
 - c. 設計車両
 - d. 道路の存する地区

14. 路肩の機能として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 側方余裕幅として交通の安全性と快適性に寄与する
 - b. 駐車スペースとなる
 - c. 路上施設を設けるスペースとなる
 - d. 歩道を有しない道路にあっては、歩行者等の通行部分ともなる。
15. 歩道部の構造として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. マウントアップ型
 - b. フラット型
 - c. セミフラット型
 - d. 一体型
16. 合成勾配の基準値を決定するにあたり、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 設計速度
 - b. 積雪寒冷の度
 - c. 平面曲線半径
 - d. 設計車両
17. 道路の情報化の説明として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. I T S は、高度な情報通信技術を道路交通分野に活用し、交通渋滞・環境問題等を解消するシステムである。
 - b. E T C は、有料道路の料金所をノンストップで通行するシステムである。
 - c. G P S は、日本の人工衛星を活用して位置情報を把握するシステムである。
 - d. V I C S は、ビーコンや F M 多重放送で道路交通情報を提供するシステムである。
18. T D M の具体施策について、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. バリアフリー
 - b. パークアンドライド
 - c. 時差出勤
 - d. ロードプライシング

19. 道路事業の評価をあらわすものについて、正しいものを a~d のなかから選びなさい。

- a. トリップ指標
- b. アウトカム指標
- c. コミュニケーション指標
- d. プロセス指標

20. 舗装の性能指標として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 塑性変形輪数
- b. 平坦性
- c. 舗装空隙性
- d. 疲労破壊輪数